

真行草

平成 26 年度
11 月発行

第 7 号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OB・OG 係 hamai_kyudo_ob@yahoo.co.jp

毎年 1 回発行

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス
<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>

全医体 3 連覇!!



平成 26 年 8 月 11 日 西日本医科学学生総合体育大会

質直（しちじき）にして心柔軟（こころにゆうなん）

前弓道部顧問・現弓道部師範代 佐藤清昭先生

皆さん、元気に活躍されていることと思います。はじめにこの場所をお借りして、あらためて今年3月の退職記念式典のお礼を述べさせていただきます。その節はお忙しい中、多くのOB・OGの皆さんが集まってくださいました。ありがとうございました。

小さいお子さんや赤ちゃんまで参加してくれ、弓道部の次世代が着実に成長している様を見ることができたのも、感激したことでした。

心残りは、多くの懐かしいお顔を拝見したのに、お一人お一人とゆっくりお話ができなかったことです。申し訳ありませんでした。

さて私は退職後も、それなりに忙しい日々を送っています。浜松医大やカルチャーセンターでドイツ語を教えたり、現役の弓道部の諸君と一緒に弓道を勉強したり、自分自身の稽古に行ったり、というわけです。しかし自宅の（狭い）書斎の整理も一段落したので、そろそろ本来の仕事にも取りかからなければなりません。

ところで、最近読んだ本によると、仏教の法華経の中に、「質直（しちじき）にして心柔軟（こころにゆうなん）」という言葉があるそうです。「質直（しちじき）である」とは、心が率直で飾り気のない様子、または「自分をえらそうに見せよう」とか、「物知りに見てもらおう」とかいう派手な気持ちの「ない」様子を言います。したがって「質直にして心柔軟」とは、そのような「質直」な様（さま）になって初めて「柔軟（にゆうなん）な心」が生まれる、ということになります。

さて私たちは人間である限り、むさぼり求める心があり、自分に逆らうものに怒り、真理を悟れないでいます。仏教ではこの3つを合わせて「煩惱（ぼんのう）」といいます。これを断つことができるか？なかなか難しい（いやな奴は、

やっぱりいやな奴です）。しかし「質直（しちじき）である」ことにより「心が少しでも柔軟（にゆうなん）」になれば、煩惱を（断つことはできないとしても）せめて「柔らかく」することはできるかもしれない。

でも……、「質直である」ことはなかなか難しい……、ということは「心柔軟」も難しい……、そしてその先にあるはずの「悟り」にいたってはもっと難しい……。



退職記念式典の様子

弓道部部长挨拶

弓道部顧問 三澤清先生（平成6年度卒）

今年の3月にOB・OGの皆さまと現役弓道部員とともに、佐藤清昭前部長の退職記念式典を開くことができました。盛大な会で、佐藤先生の長年の弓道部での存在の大きさを感ずることができました。たくさんのOB・OGが集まり懐かしい思い出にひたることもでき、準備に奔走したOB・OG系の皆さんに改めて感謝いたします。

4月より佐藤先生の後任として弓道部部长に就任しまし

た。実をいうと、片桐伯真先輩との間では、OB・OG会長の役を引き継ぐことを退職記念式典の相談のために集まった新年会で決めていました。浜松医大弓道部が全国の大会で次々と好成績を残していることを思うと、OB・OG会のさらなる充実も必要と感じていましたので、汗をかく気持ちは自分の中にうまれていました。その後、ちょっと話が変わり弓道部部長を後任することとなりました。

実際、部長になってみての印象ですが、大学からまったく事務手続きがないということに少し驚きました。これは無報酬の役なので当然なのかもしれません。新歓コンパでは、十年ぶりくらいに一気に飲みをしました。こういうノリも悪くはないのかなと思いますが、節度も大切だと思います。浜松での西看体の主幹では、スムーズな試合運営に驚きました。開会式で選手の皆さんに、熱中症には気を付けてくださいとお願いしたのですが、普段の不摂生のせい、私は冷房のきいた医務室から出ることができませんでした。日常でうれしいことは、現役部員と話をする機会が増えました。こんなことがありました。メールで、ある火曜日の四時半に約束をしていましたがその日二人は現れませんでした。何か事故があったのかと心配しましたが、翌日二人は恐縮しながら現れました。約束の日に来ないことがあっても想定範囲内の出来事なのだと分かりました。この二人はいつ、私との約束を思い出したのか興味のあるところです。

来年は、中部ブロックの主管があります。ぜひ皆さんも観戦に来ていただきたいと思います。鍛錬された主管運営をみるのも楽しいと思います。西医体は、連覇記録がとまりましたが、全医体は四連覇の期待がかかります。OB・OGの皆さま、現役部員の活躍に注目してください。あの弱小だった弓道部は、浜松医大全体の歴史でも例のない強いクラブに成長しています。

浜松医科大学弓道部の皆様へ

OB・OG会長 片桐伯真先生（平成4年度卒）

毎年学生諸氏による西医体・全医体での優秀な成績に、OB・OG会代表として、とてもうれしくかつ誇りに思っております。これらの活躍の背景には、今まで築かれてきた伝統だけでなく、現役学生が日々努力した結果があり、目に見えない努力もされているものと想像します。学生時代はある意味自由な時間が確保されており、あまり責任など考える事無く無茶苦茶頑張ることができる大切な時期です。その時は辛い思いがあったとしても、その後の人生において必ず良い経験として自信につながると思います。自らの限界を設けず、頑張ってみてください。

そういえば、自ら限界を設定することなく、可能性を信じることの大切さは、今年ノーベル物理学賞を受賞された天野浩さんをはじめ、何かを成し遂げた人達が口をそろえて言っている言葉ですね。私達が考えている常識というのは、実はその時の平均的な事柄の枠にはまったことで、その常識という考え方も時が経て変化していくものです。皆さんが自然科学の中の「医学」という領域でこれから働く際には、是非常識という言葉だけにとらわれず、可能性を追求することも考えてみてはどうでしょうか？

ただ、気をつけていただきたいことが幾つかありますので、是非限界をぶち破ろうと考えている方には以下の点を守って行動していただきたいと思います。それは ①自らの命を守ること、②人を傷つけないこと、③結果を謙虚に受け止めることの3つです。

限界に挑戦する姿勢は大切ですが、「命あつての物種」です。これから先の長い人生、いろんな挑戦をする機会があるとは思いますが、そのためにも心身ともに挑戦に耐えうる状況にすることも大切です。私達はとにかく挑戦している際には疲労を忘れがちですが、疲労は疼痛・発熱と同じ体から発する警告信号の1つです。謙虚に耳を傾ける姿勢がないと、時に過労死といった恐ろしい結末につながります。是非命は大切にしてください。

挑戦することで成果をだし、それが自分だけでなく人々の幸せにもつながることが理想です。もちろん自分自身の達成感やその後の自信につながることも大切ですが、それが他者への犠牲の上で作られるのはいかかなものかと考えます。弓道は競技中、物理的に相手と接触することのない数少ないスポーツです。だからこそ自らの戦いや絶対的な評価ができます。元々争いや戦いが嫌いだった私にはそういう競技だったからこそ興味を持つことができたと思います。人の犠牲ではなく、心ある支援・応援を大切にしながら挑戦していくことが大切です。

どんなに挑戦をしても、必ず結果が出るとは限りません。自然を相手にしても人間の思い通りにならないのが自然ですし、人を相手にしても、様々な価値観と感情を持った生き物ですから、やはり思い通りになることばかりではありません。努力に対する対価を求める姿勢があると、挑戦しても傷つくだけになってしまうことも少なくありません。宝くじを買っても必ず当たる訳では無く、夢を買うと言う作業に満足すれば割り切れることもあるでしょう。私もかつて多くの夢と寄付と銀行や宝くじ売り場の方々の給与の一部を担ってきました。宝くじも買わなければ当たりませんが、買っても当たる保証はありません。挑戦しても結果が必ずしも思った通りにならないことがあるかもしれませんが、その責任転嫁を誰かにするのはなく、挑戦できた自分と失敗した経験を次に活かすという、良い勉強の機会と夢を与えてくれたと思う気持ちが大切だと思います。

私は今、地域での障害者支援というテーマの中で、高次脳機能障害者の支援についていくつか挑戦しています。正直時間も予算も支援者もまだまだ少ない中、時に心が折れそうになることもあります。自分が今頑張る事ができるのは、自分なりの信念を持っているからだだと思います。それは何かといえば、私が今住んでいる地域でこれからも生きていく中で「自分や家族が障害者となったとき、安心して過ごせるような地域にしたい」という思いです。医療従事者は人が生きていく上での4つの苦しみである生・老・病・死に関わる職業です。その苦しみの1つでも和らげる

ことができる役割を担えれば、医療従事者としての本望かもしれません。皆様がこれから先もチャレンジ精神を持って、それぞれの幸せを獲得できるよう願っております。

正直内容が無いよう……と言われそうですが、忙しい中、つれづれなるままにPCに向かい、心に移りゆくよしなしごとを打ち綴った結果とご容赦下さい。



西日本医科学学生総合体育大会の様子

前主将挨拶

第26代主将 武田昌大（医学科4年）

朝夕の寒気が身にしみるところとなりましたが、浜松医科大学弓道部OB・OGの皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃より格別なるご高配を賜り感謝申し上げます。

今年度は多くの大会はもちろん、西看大主管やOB・OG総会（佐藤先生の退職記念式典）もあり、部としての行事が盛り沢山な一年でした。試合に関しては、東海医歯薬男女団体優勝、中部ブロック男子団体優勝、西医体男子団体準優勝、全医体優勝、東国体男女団体優勝、という結果を

残すことができました。特に、全医体では3連覇、東国体では女子初優勝を飾ることができました。強豪校浜松医大の名に恥じない結果と言えると思います。何年も続く安定した強さというのは一朝一夕で築かれたものではなく、弓道部26年の歴史が積み上げてきた努力の結晶であると思います。今年は結果だけ見ると良い結果ではありましたが多くの課題が残ってしまう試合ばかりでした。立ちにおいて部員の層が厚くなっていることもあり、今までに無いほどの高い中での争いでした。しかし、試合本番になると思うような的中が出ず、引退生の方々の的中無しでは勝てないが多かったのではないかと思います。本番で中てるためにどうすべきかをこれからも考えて練習に励み、部の勝利に貢献できればと考えております。

OB・OG総会や西看大主管に関しましてはOB・OGの方々の多大なるご厚意もあり無事終えることができました。今の弓道部には77名の部員がおり、色々なタイプの人があります。様々な価値観があるにも関わらず、これらの行事を部が一丸となり成功に導くことができたのは係長やその係内の上級生が妥協することなく懸命に取り組んでいたからであり、その姿を見た後輩、同学年、先輩もまた懸命に取り組んだ結果なのだと思います。

大所帯だと文字通りの一丸となることは困難なのかもしれません。しかし、弓を通してであったり、係の仕事を通してであったりと弓道部に関わろうとする姿勢を持つことが周りの協力を得るために必要であり、それなくしてこの素晴らしい部活は築かれていないのだと感じました。自分はずでに引退し一線を退いてしまった身ではありますが、これからはこういった新しい視点を持って部に接し、より良い部を作る支えになっていこうと思います。

現在のところ、部員は今年10月より発足した新幹部の下、練習に打ち込んでおります。お時間がございましたら是非とも弓道場にお立ち寄りください。部員一同心よりお待ちしております。

簡単ではございますが、前主将挨拶とさせていただきます。OB・OGの皆様には、ご迷惑をお掛けすることもあり

恐縮ですが、今後も御指導のほど宜しくお願いいたします。



医大祭の様子

前看護科主務挨拶

鈴木未菜（看護学科3年）

清秋の候、OB・OGの皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。昨年度10月より1年間看護科主務を務めました、鈴木未菜と申します。今年度の西看大の主管では、皆様からの多大なる御支援、御協力により、無事に成功を収めることが出来ました。看護科を代表し、この場をお借りして改めて皆様に心より御礼申し上げます。

今年の西看大では団体、個人共に成績が奮わず、私個人としても悔しい試合となりましたが、1年生がA団体入りを果たしたり、一次予選を通過したりする等、上級生だけでなく下級生も奮闘してくれた試合でもありました。加えて、今年度は主管をしたこともあり、2年生にとっても非常に良い経験になったのではないかと思います。後輩達がこの経験を今後の弓道鍛錬の糧とし、より一層精進してく

れることを願っております。

次期看護科主務は、鈴木亜佑実が務めます。彼女は経験者ではありませんが、医学科・看護科を問わず人望も厚く、弓道にも熱心に励んでおり、十分看護科を先導出来る存在だと思います。彼女なりのやり方で看護科をまとめ、さらに成長させてくれることと思いますので、今後とも引き続き御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。1年間、本当に有難う御座いました。



新歓遠足の様子

新主将挨拶

第27代主将 藤田王樹 (医学科3年)

遠くの間も澄み切った青空に映える季節となりましたが、OB・OGの皆様におかれましてはますますのご隆盛の事と存じます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

10月から主将を務めている、医学科3年生の藤田王樹と

申します。OB・OGの皆様が築き上げてこられた伝統のある弓道部の主将を務めさせていただくことを光栄に思うと同時に、27代にわたる部活動を引き継いでいく大きな責任に身が引き締まる思いです。

今年度は新入部員が医学科7人と看護科3人の合わせて10人となりました。このように毎年大勢の新入部員に恵まれ、現在の弓道部は現役部員が39人、全体で77人という浜松医科大学において有数の大きな部活となっています。部員の数は増加しておりますが、皆様から例年にも増して多くのご援助を頂いていることで、弓具が揃う素晴らしい環境で練習し、大会にも滞りなく参加させていただいています。また今年3月に開催されたOB・OG総会において多くの方にご参加いただき、会を盛況のうちに終えることができたことも加えまして、この場を借りて皆様に御礼申し上げます。

さて、私が今まで弓道部に関わらせていただく中で考えた主将の役割ですが、弓道部の伝統を受け継いでいながら、部員一人一人が楽しく充実した活動を送れるように部活動という一組織をまとめ上げることだと考えています。同じ部活動に所属しているとはいえ、それぞれ異なる思想を持ち学生生活を送っている77人が、同じ姿勢で部活動に関わり、一様に満足することは難しいでしょう。しかしながら多くの方が所属しているからこそ、教育性・競技性など様々な性格を持つ弓道を通して人と関わり合い、共に壁を乗り越えることもできますし、時には部活動で得た仲間と勉強に勤しみ、その合間に共通の趣味で仲を深めることもできます。このようにして弓道部が部員それぞれに意味のある充実した活動になっていくために、各部員が部活に対する意識をより一層高め、確固たる結束力を作って参りたいと考えています。また、浜松医科大学は来年の中部ブロックの主管にあたります。他大学の方に満足していただけるように部員一丸となって大会運営に努め、部活動としての団結を示すことも一つの目標となっております。

私個人の意見ではありますが、在校生が今の部活動をより良いものにして更に下の代に伝えようとするその背景に

は、OB・OGの皆様の当時のご活躍があるように感じます。OB・OGの皆様のご活躍に憧れ、その意思を下の代が受け継いでいくという良い循環が続いているからこそ、今の弓道部が存在していると思います。そしてご卒業されてからも尚ご支援していただいていることで、その循環が次第に大きなものになり、現在の弓道部を形作っています。近年の弓道部の活躍はOB・OGの皆様のご厚情の賜物であり、これからも皆様に報いることのできる成果を試合の結果や部活動の雰囲気として示して参りたいと考えています。

未熟な点も多くご迷惑をお掛けすることも多々あるとは存じますが、変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら皆様のご健勝とご発展を心からお祈り申し上げ、御礼かたがた新主将挨拶と致します。

新看護科主務挨拶

鈴木亜佑実（看護学科2年）

秋霜の候、OB・OGの皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。10月より看護科主務を務めております、鈴木亜佑実と申します。平素より浜松医科大学弓道部に多大なるご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

今年は看護科に3名が入部しました。内1名は、昨年に引き続き看護科男子です。皆、体配や射法八節に気を付けて稽古に励んでいます。

さて今年の西看大では、浜松医科大学が主管を務めました。このような大きな大会の主管は久しぶりということで、西看大主管係を中心として医学科と看護学科が協力し、大会までの準備や練習を行いました。本番では、他大学の方にお褒めの言葉も頂き、無事西看大の運営を終えることができました。このように主管を成功させることができたのは、西看大主管係が中心となって、一人一人がどうしたら

もっと円滑に試合を行うことが出来るのか考え、行動したからだと思います。そして、この成功はOB・OGの皆様のご支援あつてのものだと思います。この場をお借りして御礼申し上げます。また、今回の反省点を来年度の中部ブロック主管に活かして、さらによい主管にしていこうと考えています。



西日本看護学生弓道選手権大会の様子

私はこの1年看護科主務として特に看護科にひろく目を向け、みんなで協力して頑張っていこうという雰囲気をつくっていきたくです。そして、先輩方が築きあげてくださった伝統を受け継ぐとともに、私達らしい部活にしていきたいと考えております。

至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともご指導・御鞭撻のほどよろしく願いいたします。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、看護科主務挨拶とさせていただきます。

OB・OGの方々から

ご寄稿を頂きました！

浜松医科大学医学部附属病院

本多里美先輩（平成22年度卒）

神在月の出雲へ旅をし、神無月の遠江へ戻った翌日に、寄稿のお話をいただいたのもまた、何かの縁でしょうか。一ご挨拶が遅れました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。弓道部は今年も大きな怪我なく、強豪校の位置付けを不動のものとしているようで、喜ばしいこととございます。新体制となって間もないかと思いますが、いっそうの精進と発展を約束してくれるだろうと期待に已みません。

さて、私は卒後そのまま附属病院へ就職し、呼吸器内科・肝臓内科・内分泌代謝内科の病棟で看護師4年目の日々を過ごしています。内科病棟とあってリピーターの患者さんも多く、またステルベンも多く、両手では足りないくらいの患者さんのエンゼルケアをし、つい先日もお見送りしたところでした。

ステルベンにあたる時、皆様はどう受けとめられるでしょうか？

私は一時期、夜勤に入る度にエンゼルケアをしており、自分が夜勤をやらない方がいいのではないかと思うくらいでした。その時、先輩から頂いた言葉ですが、「最後の時を看てもらいたいと、選んでくれたのだと思うこと」。私達医療者は、その人が家族とともに長い時間を過ごしてきた中で、ほんの一時しか関わりません。そして一度しか訪れない最期をご家族と、時にはご家族の代わりに過ごします。たった一度の旅路の出発に、ほんの少ししか分かち合っていない私達は関わる事ができ、またその旅の御仕度を手伝わさせていただくことができる——なんと光栄なことでしょうか。先輩の言葉を頂いてから、私は「最期を一緒に過ごさせてくれて、ありがとう」と思いながら、エンゼルケ

アに入らせていただいています。

初めての入院で緊張していたけれど退院時には「お世話になりました！」と笑顔で帰る患者さん、「よお、元気？ 結婚は？」と入院の度にお節介な一言と一緒に手を振ってくれる患者さん、外来だったから寄ってみた病棟を訪れる患者さん、一悶着あった患者さん、かっこよく和服を着こなして「とっても凛々しいですね」とお見送りした患者さん。

たくさん縁があります。縁は病院の中だけでなく、私達の様々なシーンにあり、またひとつとして無駄な縁というのはないのだと思います。

日々、此れ感謝。

袖すり合うのすらも縁であれば、うれしいことも、腹の立つことも、不満に思うことも、悲しいことも、幸せなことも、すべてが何かの縁。その時はそう思えなくても、後になればそれぞれ素敵なことです。

ところで、神社大好きが高じて巫女バイト経験を経て更に神社愛に目覚めた私から宣伝です。縁の神様を祀る出雲大社は平成の大遷宮の真っ最中で、限定の御神札・御守を受けられます。60年に1度の大事業ですし、先日の千家国麿さん・典子さんのご成婚もあってとても賑わっています。山陰道が途切れ途切れで交通の便はよろしくありませんが、ぜひ皆様足を延ばしてみてください。ちなみに日本人の総氏神の伊勢神宮も遷宮の真っ最中です。

末筆ながら、素敵な縁が、皆様に溢れ、結ばれますようお祈りしております。

スズキ株式会社

近藤恭子先輩（平成22年度卒）

晩秋の候、OB・OGの皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成22年度卒の近

藤恭子と申します。

現在私は、地元静岡県湖西市の企業で保健師として働いております。つい最近卒業したばかりだと思っていましたが、早いもので4年目。だんだん仕事にも慣れてきて、最近は趣味の卓球も再開し、運動不足を解消しています。休日に試合を行っている、大学時代の弓道部の活動のことが蘇ってきます。中部ブロック、医歯薬、西看大、三十三間堂など弓道部の仲間と出かけた数々の試合、冬の凍える中での練習、佐藤先生のお宅での食事会……どれも楽しい思い出です。

卒業して以来、弓には全く触っていないのですが、ぼんやりとしている時、無意識に手の内の形をとってしまうのは、とても不思議なものです。現役生からの報告のメールが届くと、もう一度弓を引いてみたいと思うこともあります。

昨年、久しぶりに東海医歯薬の応援に行ってきました。選手が控えて待っている時にみんなで声をかけ励ます姿、団体の時に祈るように応援している姿、全てがとても懐かしく感じました。男女アベック優勝の最終立ちも見届けることが出来ました。



昨年度（平成25年度）の東海医歯薬学生弓道大会の様子

最近の優勝ラッシュ。大きなプレッシャーの中、これだ

けコンスタントに結果を残すということは容易なことではないと思います。試合に出ている人は勿論ですが、出していない人も含め、部員全員がそれぞれの役割をきちんと果たしているからこそ成し遂げられることだと思います。そんな姿を医歯薬の時に間近に見ることができ、本当に幸せでした。

学年の枠を超えて仲が良いところ、部員同士教え合い励まし合っていくところ、これは先輩方から受け継がれてきた浜医弓道部の伝統であり、大きな魅力です。今後も応援団の一人として、浜医弓道部の活躍を見守っていきたいと思います。

東京都立墨東病院

篠原慧先生（平成25年度卒）

OB・OGの皆様、現役部員の皆様、大変ご無沙汰しております。平成25年度医学科卒業生の篠原慧と申します。ご依頼を受け僭越ながらこの度寄稿させていただきました。

私がいま研修をしている東京都立墨東病院は、東京は錦糸町にある病床数772床の急性期病院で、ERを有し、ほぼすべての診療科（内科系、外科系、小児科、産婦人科、神経科など）で3次救急まで受け入れている点が大きな特徴です。そんな病院で私はといいますと、下町気質の患者様、医師、看護師、コメディカルスタッフのみなさんにやや気圧され、おろおろしながら研修を行っています。幼稚園から大学まで静岡でのほほんと過ごしてきた私がおっとりした静岡の人々を懐かしく思うのは言うまでもありません。今は社会人一年目、知識も技術も全くないひよっこですが、そんな静岡とは一味違った環境の中で、医師としての礎を築くべく、今後も日々努力していきたいです。

また、卒業後は弓と接する機会もなく…と思いきや、同

期にたまたま弓道をしていた者がおりまして、結構熱心なやつなので研修医室にゴム弓を持ってきているのです。私もそれを借りて研修医室でゴム弓を引いているのですが、現役時代と変わらずの弓手の抜け具合、引き分けの震え具合。弓を知らない同期からあまりの震え具合に「ゴム弓ってそんなにきついのか？」と心配されております。



平成 25 年度卒業式の様子

現役生の皆様へ

色々な人と接しながら仕事をしていく我々医療従事者にとって、大学の部活を通して学ぶことは本当に多く、某先輩の言っていたように部活は社会の縮図だったと実感しております。様々な人との接し方、集団での自分の役割を果たそうとする努力は何よりも重要なもので、働いてからでは身に付きませんし、そういったことができていないと誰からも相手にされなくなってしまうかもしれません。もし現役部員の中の的中が出なくて自分なんて…もう部活なんてヤダ！と思っている子がいても、ぜひそういった理由からも部活を続けてほしいものです。たまにメールで試合での活躍や部活の楽しそうな様子を送ってくれることがあるのですが、とてもうれしくて、その日一日頑張ろう！と大変励みになっています。これからも浜松医大弓道部らしく、みんな仲良く楽しく、ご活躍ください。

錦糸町お近くにいらした際はぜひお声かけください。詳しくないですが、下町グルメをご紹介します！

OB・OGの皆様、現役部員の皆様のご活躍をスカイツリーの一のふもとよりお祈り申し上げ、寄稿文とさせていただきます。

今年度もOB・OGの方々からご寄稿を賜りました。お忙しい中、誠にありがとうございました。今年度に引き続き、来年度の会報誌にもぜひ、ご寄稿のご協力をお願い申し上げます。

PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものを見ていただけるように、ホームページからダウンロードをできるように致しました。

是非ご覧ください。

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>から

[アイテム] → [会報誌] にてご覧になれます。

<試合結果>

—東海医歯薬学生弓道大会

(2013. 11. 16~17) —

【団体戦】

男子団体 優勝

女子団体 優勝

【男子個人戦】

中井省吾 (医学科4年) 優勝

佐藤大輝 (医学科2年) 第3位

村井雄紀 (医学科3年) 第4位

【女子個人戦】

和田泉 (看護学科2年) 第3位

西恵佳 (医学科1年) 第5位

【男子優秀射技賞】

中井省吾 (医学科4年)

【女子優秀射技賞】

望月琴美 (医学科3年)



東海医歯薬学生弓道大会の様子

—静岡県下学生弓道大会春季大会

(2014. 3. 9) —

【団体戦】

男子団体A 優勝

男子団体F 第3位

女子団体A 優勝

女子団体C 第3位

【男子個人戦】

野島悠有 (医学科3年) 優勝

石川駿 (医学科3年) 第4位

山田裕 (医学科4年) 第5位

【女子個人戦】

鈴木未菜 (看護学科2年) 優勝

東夏美 (医学科4年) 第3位



静岡県下学生弓道大会春季大会の様子

—中部ブロック医科学生弓道大会

(2014. 6. 7~8) —

【団体戦】

男子団体 優勝

【男子個人戦】

藤田英彦 (医学科3年) 第3位

中井省吾 (医学科5年) 第4位

菊池優志 (医学科4年) 第5位

【女子個人戦】

河上明日香 (医学科4年) 第2位

鈴木未菜 (看護学科3年) 第5位

—東海地区国立大学体育大会

(2014. 7. 12~13) —

【団体戦】

男子団体 優勝

女子団体 優勝

【女子個人戦】

西恵佳 (医学科2年) 第3位



東海地区国立大学体育大会の様子

—静岡県下学生弓道大会夏季大会

(2014. 7. 20) —

【団体戦】

男子団体 A 準優勝

男子団体 G 第3位

女子団体 A 優勝

【男子個人戦】

佐藤大輝 (医学科3年) 優勝

【女子個人戦】

望月琴美 (医学科4年) 準優勝

長田祥子 (医学科4年) 第5位

—西日本医科学生総合体育大会

(2014. 8. 8~11) —

【団体戦】

男子団体 (120射80中) 準優勝

女子団体 (60射31中) 第6位

【女子個人戦】

望月琴美 (医学科4年) 優勝

【女子最優秀射技賞】

望月琴美 (医学科4年)



西日本医科学生総合体育大会の様子

—西日本看護学生弓道選手権大会
(2014. 8. 17～19) —

【団体戦】

団体 A (60 射 10 中)

団体 B (60 射 19 中)

団体 C (60 射 12 中)



西日本看護学生弓道選手権大会の様子(上 2 枚)

—全日本医科学生体育大会王座決定戦
(2014. 8. 30～31) —

【団体戦】

団体 (120 射 87 中) 優勝

【個人戦】

大竹正紘 (医学科 4 年) 第 3 位

【最多的中賞】

村井雄紀 (医学科 4 年)



全日本医科学生体育大会王座決定戦の様子 (上 2 枚)

近況報告

<一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します。>

11月 医大祭

ポリクリが終わり試験勉強に追われる中、弓道場に顔を出すと皆優しく迎えてくれます。それも先輩方のご指導や後輩の努力で築かれた環境だと思い、感謝が尽きません。後輩が実力をつけ、応援する楽しみが増えましたが、なおさら自分の弓道を終わらせるのは惜しく感じます。悔いが残らないよう楽しんで行きたいです。

乾航(医学科6年)



11月 しゃちほこ杯

11月 東海医歯薬



弓道部に所属して早くも1年半が経ちました。普段の部活では、現役生も引退生も混ざって賑やかに弓道に勤しむことができ、嬉しさを感じています。このような弓道部に所属し活動できるのも、先代のOB・OGの方々のおかげであり、感謝しています。私たちもこの弓道部を次の世代に引き継いでいけるよう努力していきたいと思います。

馬場皓大(医学科2年)

OB・OGの皆様には日頃より多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。長かった実習も無事終了し、ついに卒業まであと半年となりました。寂しい気持ちもありますが、残された時間で悔いの残らぬよう、部活や試合に参加していきたいと思います。

藤井里奈(看護学科4年)



12月 冬のうなぎ杯



12月 グラスカップ



1月 三十三間堂

OB・OGの皆様、日頃より多大な御支援を賜り、誠にありがとうございます。引退してから早一年経ちましたが、弓に触れる日々を過ごしております。代替わりし、これからの現役生の活躍に期待しつつ、自身も一引退生、一射手として部活に貢献していければ幸いです。

中井省吾(医学科5年)

私が弓道部に入部してからまだ半年しか経っていませんが、半年とは思えないほど密度の濃い時間を過ごす事ができました。道場に行けば、必ず先輩がいて指導をして下さり、辛い時には先輩方や仲間の存在に支えられてきました。これまでこのような雰囲気での部活と巡り会ったことがなかったので、学年の壁を越えて仲良くして下さる先輩方に恵まれた弓道部に入部できて、本当に良かったと思います。

村上諒(看護学科1年)

2011年に入学した私たちは、医学科は10月で幹部学年を終え、看護学科は時折道場に来ては部員と楽しく弓を引いています。私は引退生となりましたが、武田主将の下1年間幹部学年をやり遂げる事が出来たのも、OB・OGの方々の応援や部員の協力があつたからだと感じました。大会や交流戦でも好成績を残す事ができ、とても嬉しく思っています。1年間、暖かいご支援ありがとうございました。

石川駿(医学科4年)



3月 第2回OB・OG総会

3月 春季県下

3月 メモリーカップ



3月 追い出しコンパ

弓道部に入部してから早2年半がたち、幹部学年になりました。幹部学年としてはまだまだ不馴れで、反省することも多いですが、先輩から頼られるような先輩になれるようにと努力を重ねる毎日です。弓道はもちろん、医大祭などの行事や遊びを通じて弓道部がよりよい組織になるように皆と協力して活動していきたいと思ひます。

吉本恭子(医学科3年)



3月 卒業式

3月には医学科3人、看護学科2人の先輩方がご卒業されました。

4月には医学科7人、看護学科3人の新入生を迎えました。今まで女子が多かった看護学科ですが、昨年に引き続き今年も男子が1人入部しました。

6月 中部ブロック

4月 新歓遠足

現在浜医の弓道部は70人を越える大きな部活になっています。今年度は幹部学年としてこの人数をうまくまとめていけるよう弓道の技術面や部活の仕事面などでサポートしていきたいです。僕自身は来年行われる中部ブロックの主管係長を務めることになり、主管を成功させることができるかどうか大きな心配事です。良い主管を行うためにも、西看大の時と同様にOB・OGの皆様のお支援を頂けたらと思っています。

高橋巧(医学科3年)



6月 夏のうなぎ杯

6月 山梨大学交流戦

私は弓道に打ち込むことができ、大変嬉しく思っています。毎回大会に行けることや、いつでも弓や道場を使えるという恵まれた環境で弓を引くことができるのはOB・OGの皆様のおかげです。毎日練習できることを感謝して、これからも修練を積んでいきたいです。

鷲見健翔(医学科1年)

今年は私達にとって初めての後輩ができ、今まで先輩方に教えていただいたことを後輩に還元できるよう、試行錯誤で臨んだ年でした。私にとって弓道部は、楽しい時も苦しい時もそれを共有できる部員のいる、大切な居場所だと思っています。これからもいろいろな経験を通して、少しずつ自分も弓道部とともに成長していけるよう、努力していきたいです。

海老岡里穂(看護学科2年)



7月 夏季県下



7月 バーベキュー

7月 東国体(上2枚)

今年度の西医体は金沢市で行われ、男子団体準優勝を達成しました。個人戦では女子優勝を飾ることが出来ました！

また、西看大は主管校を務めました。部員一丸となり円滑に運営を進めることが出来ました。

8月 西医体



8月 西看大



入部して、早くも半年が経とうとしています。入部したての頃は、ただただ部員の多さに圧倒されていましたが、今は様々な事で親身になってくださる先輩方や心を許せる同学に出会え、かけがえのない居場所を見つけることができたと感じています。これからも出会いを大切にしながら、美しい射を目指して邁進していきたいです。

川口琴子(医学科1年)

8月 全医体



OB・OGの皆様には日頃より多大なご支援頂きまして、心より御礼申し上げます。私は5年生になり、病院実習・見学の際にお会いした諸先輩方には大変丁寧にご指導して頂き、弓道部の部員であってよかったと改めて思い、感謝の気持ちで一杯です。今後も大好きな弓道をずっと続けたいと思います。

東夏美(医学科5年)

全医体は山口県で行われました。接戦を制し、見事団体戦3年連続優勝を飾ることが出来ました！



10月 幹部交代コンパ

2年生になり、後輩の指導が始まりました。最初は戸惑いばかりでしたが、先輩方に指導のやり方を教えて頂いたりして頑張っています。弓道部は大会も多いので、この1年半で色々なところに行けましたし、他大学の弓道部の方と友達になることができました。本当に弓道部に入ってよかったなと思います。

岩瀬千郷(医学科2年)

今年度、私たちは幹部学年として部活に関わってきました。それぞれが自分の役割を果たしながら良い雰囲気でも頑張ることができたと思います。またOB・OG総会、西看大主管という大きな行事があり、部員一丸となって成功させることができ嬉しく思います。温かいご支援とご協力をありがとうございます。

濱本希(医学科4年)

<昇段審査>

2月 定期審査（静岡市・武道館）

四段 石川駿（医学科3年）
乾航（医学科5年）



2月 定期審査

3月 西部地区審査（佐久間）

参段 望月琴美（医学科3年）
四段 鈴木未菜（看護学科2年）

5月 中部地区審査（静岡市・武道館）

式段 秋場千布（看護学科2年）
鈴木亜佑実（看護学科2年）
西恵佳（医学科2年）
参段 和田泉（看護学科3年）

9月 定期審査（静岡市・武道館）

参段 東夏美（医学科5年）

10月 西部地区審査（浜松市弓道場）

初段 上利裕子（医学科1年）
石川絵里（看護学科1年）
井手麻由香（看護学科1年）
伊藤望（医学科1年）
川口琴子（医学科1年）
鷲見健翔（医学科1年）
花井耀一（医学科1年）
兵藤杜希哉（医学科1年）
村上諒（看護学科1年）
式段 岩瀬千郷（医学科2年）
参段 松村健太（医学科3年）
四段 大竹正紘（医学科4年）
千森瑛子（医学科4年）



10月 西部地区審査

※学年はすべて当時のものを記載しております。
※2014年10月までに現在の1年生が全員初段以上を取得しました！

<今年の弓道部あれこれ>

<年間行事予定>

(2014年11月～2015年10月)

11月	東海医歯薬学生弓道大会 (22～23日)
12月	冬のうなぎ杯・忘年会 (13日)
3月	静岡県下学生弓道選手権春季大会 (上旬) メモリーカップ・追い出しコンパ (14日) 卒業式 (16日)
5月	新入生歓迎コンパ (上旬)
6月	夏のうなぎ杯
7月	中部ブロック医科学生弓道大会 東海地区国立大学体育大会 静岡県下学生弓道選手権夏季大会
8月	西日本医科学生総合体育大会 (中旬) 西日本看護学生弓道選手権大会 (下旬) 全日本医科学生体育大会王座決定戦 (下旬)
10月	幹部交代コンパ (上旬)

※予定は10月末現在のものです。変更になる場合がございますので、ご了承ください。

主管について

2015年度の中部ブロック医科学生弓道大会では浜松医科大学が主管を行なうため、新たに中部主管係を設置しました。2014年度の西日本看護学生弓道選手権大会での主管の経験を活かし、係の者を中心として、部員一同より良い試合運営を目指します。

<部員構成>

今年もたくさんの新入生が入部しました。

総勢77名、浜松医科大学内でも大きな部活です。

学年内訳 ()内は女子部員の人数

学年	医学科	看護科	合計
1年	7 (3)	3 (2)	10 (5)
2年	8 (3)	7 (6)	15 (9)
3年	13 (6)	1 (1)	14 (7)
4年	17 (8)	3 (3)	20 (11)
5年	8 (3)		8 (3)
6年	10 (3)		10 (3)
合計	63 (26)	14 (12)	77 (38)

(人)

試合だけでなく、段位の取得にも取り組み、射技の向上に努めています。

有段者内訳

初段	貳段	参段	四段	五段
30	23	14	9	1

(人)

第3回OB・OG総会のお知らせ

第2回OB・OG総会では、多くのOB・OGの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。前回の総会にて、OB・OG総会を2年に1度開催することについてアンケートをご記入いただきましたが、全て「賛成」または「どちらでもよい」とのご意見でした。つきましては、現在企画段階ですが、2016年2～3月に第3回OB・OG総会を開催したいと考えておりますので、ご調整の程よろしくお願ひ申し上げます。

詳細が決まり次第ご連絡いたしますので、前回同様、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

会費・決算報告について

OB・OGの皆様にはOB・OG会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告や今年度の会計予算について記載した報告書も同封いたしました。多くのご援助、深く感謝いたします。

OB・OG メーリングリスト

OB・OG係では、試合結果やコンパのご案内などをメーリングリストにて配信しております。メーリングリストの登録をされていない方は、宮崎悠夏までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。

宮崎悠夏:miyaha388@icloud.com

編集後記

日毎に寒気の加わる時節となりましたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

前回の総会では、佐藤先生の退職を多くの方とお祝いするとともに、部員と皆様との交流の場を持つことができました。部員も皆様とのつながりをより強く感じることができたようで、OB・OG係として大変嬉しく存じます。ありがとうございます。今後も、部員と皆様との交流がより一層深まるよう努めてまいります。

さて、今年も、弓道には真剣に取り組みつつ、和氣藹々と活動している雰囲気をお伝えできるよう、会報誌を作製しました。昨年に続き、多くの試合成績や部員の昇段について掲載できること、本当に喜ばしく感じます。また、来年度の中部ブロックでは、浜松医科大学が主管を務めます。試合の成績は勿論のこと、その他の面でも、自らや皆様が誇ることのできる弓道部であるよう、部員一同努力いたします。

本年度も引き続きご支援ご厚情賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

OB・OG係

宮崎悠夏 西恵佳